

7 月 1 日、14 日 岩手県沖の地震

（2025 年 11 月以降の三陸沖から岩手県沖にかけての地震活動）

2026 年 7 月 1 日 21 時 08 分に岩手県沖の深さ 40km で M6.1 の地震（最大震度 4、今回の地震①）が発生した。また、7 月 14 日 17 時 07 分にほぼ同じ震央の深さ 39km で M5.0 の地震（最大震度 3、今回の地震②）が発生した。これらの地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。これらの地震の発震機構（CMT 解）は東西方向に圧力軸を持つ型である。

2020 年 9 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域 b）では、2025 年 11 月 4 日からまとまった地震活動が見られるようになり、11 月 9 日に M6.9 の地震（最大震度 4）が発生した。その後、この地震の北西側で 2026 年 4 月 20 日に M7.7 の地震（最大震度 5 強）が発生すると、地震活動はさらに活発となった。さらに 2026 年 6 月 25 日には M7.2 の地震（最大震度 6 強）が発生し、その近傍で今回の地震が発生した。

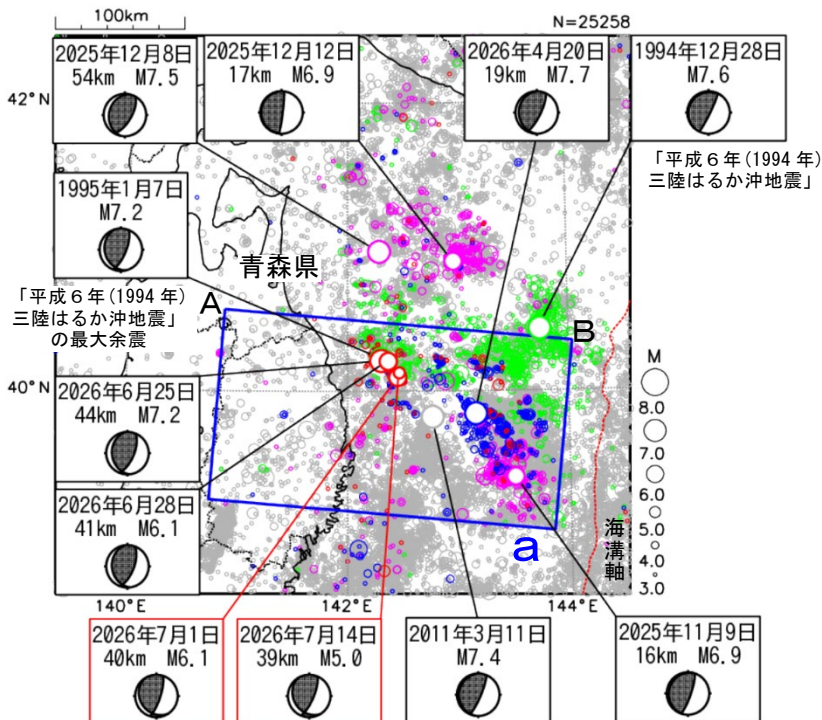
2025 年 11 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 c）では、2026 年 4 月 20 日に発生した M7.7 の地震以降、地震活動域が北西側に広がっている。この活動域の北西端で 2026 年 6 月 25 日に M7.2 の地震が発生し、その後 1 週間以内に M6.0 以上の地震が 2 回発生した（6 月 28 日 M6.1、7 月 1 日 M6.1）。領域 c では、2026 年 7 月 1 日から 31 日までに震度 1 以上を観測する地震が 17 回（震度 4：1 回、震度 3：3 回、震度 2：3 回、震度 1：10 回）発生するなど、活発な地震活動が継続している。

1994 年 12 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近では、1995 年 1 月 7 日に M7.2 の地震（最大震度 5、「平成 6 年（1994 年）三陸はるか沖地震」の最大余震）が発生している。

震央分布図

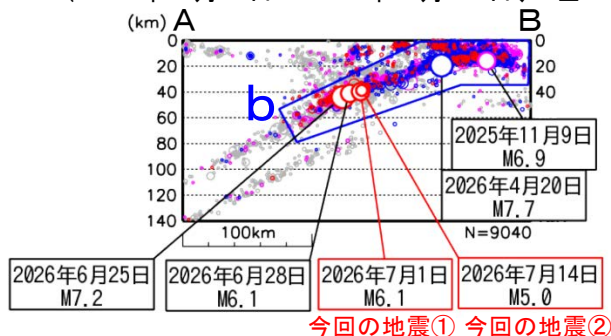
（1994 年 12 月 1 日～2026 年 7 月 31 日、深さ 0～140km、 $M \geq 3.0$ ）

- 1994 年 12 月 1 日～1995 年 1 月 31 日 ○ 1995 年 2 月 1 日～2025 年 10 月 31 日
- 2025 年 11 月 1 日～2026 年 4 月 19 日 ○ 2026 年 4 月 20 日～2026 年 6 月 24 日
- 2026 年 6 月 25 日以降 図中の発震機構は CMT 解を示す



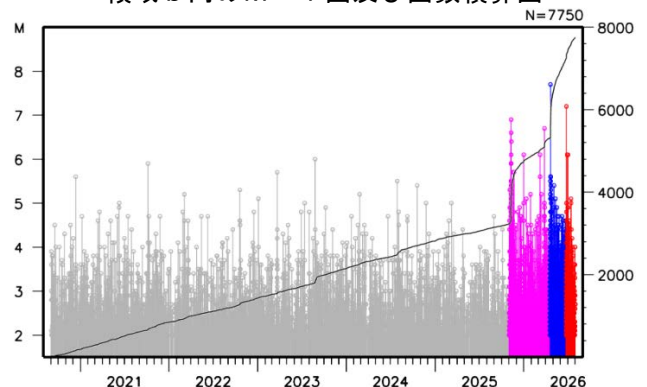
今回の地震① 今回の地震②

領域 a 内の断面図（A-B 投影）
（2020 年 9 月 1 日～2026 年 7 月 31 日、 $M \geq 2.0$ ）



今回の地震① 今回の地震②

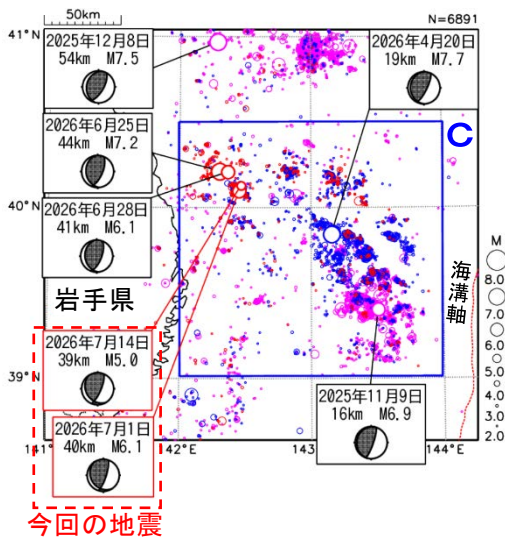
領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



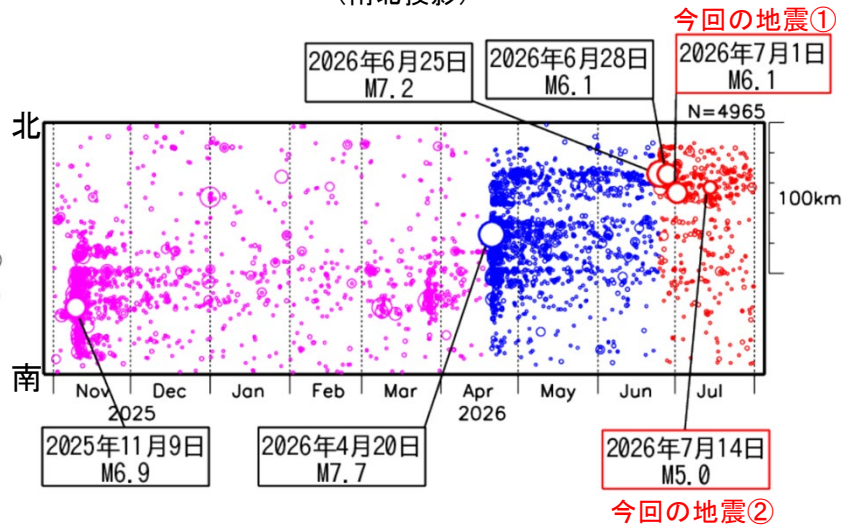
震央分布図及び領域 c 内の時空間分布図
(2025年11月1日～2026年7月31日、
深さ 0～80km、 $M \geq 2.0$)

- 2025年11月1日～2026年4月19日
- 2026年4月20日～2026年6月24日
- 2026年6月25日以降

図中の発震機構はCMT解を示す



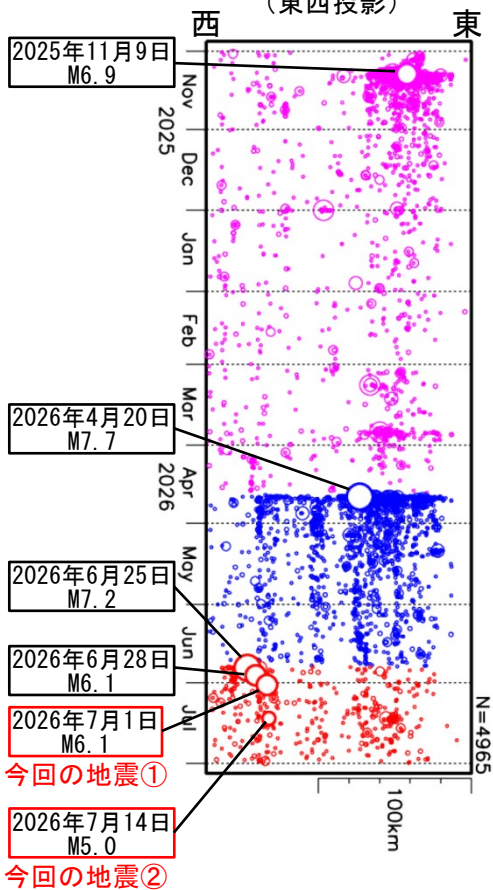
(南北投影)



今回の地震①

今回の地震②

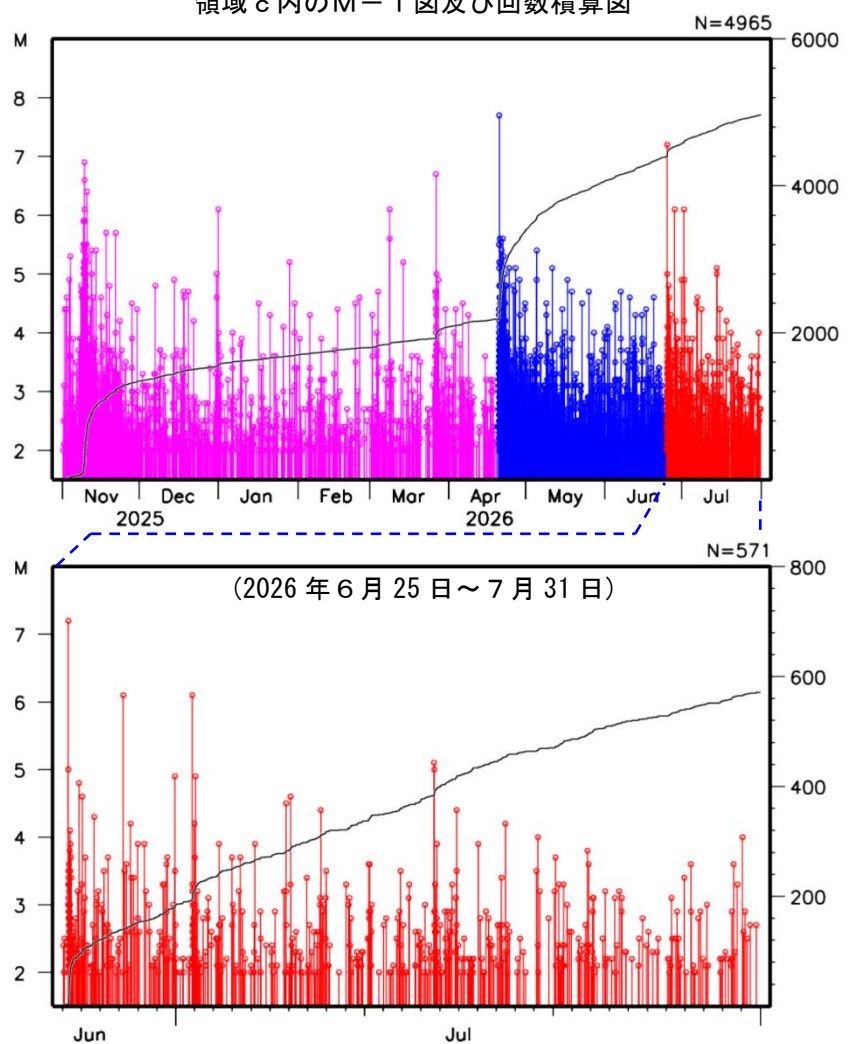
(東西投影)



今回の地震①

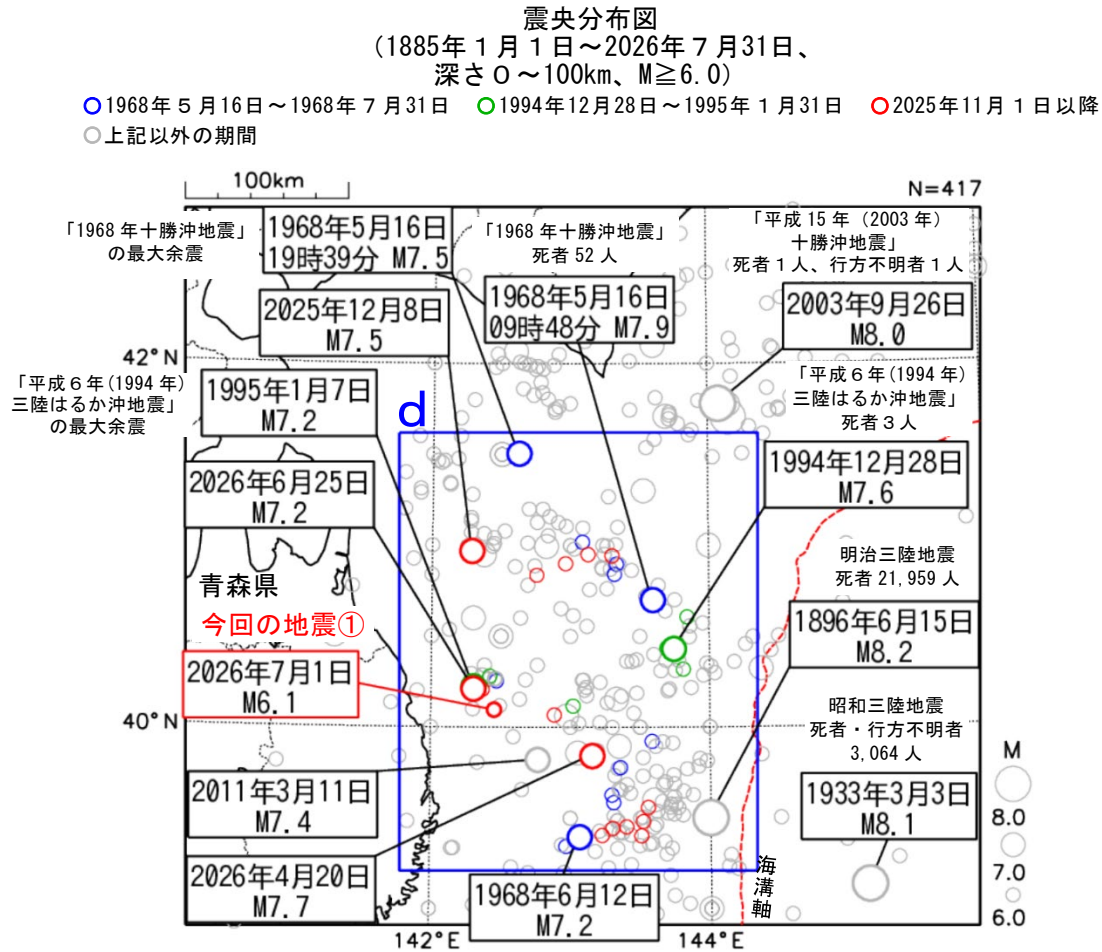
今回の地震②

領域 c 内の M-T 図及び回数積算図

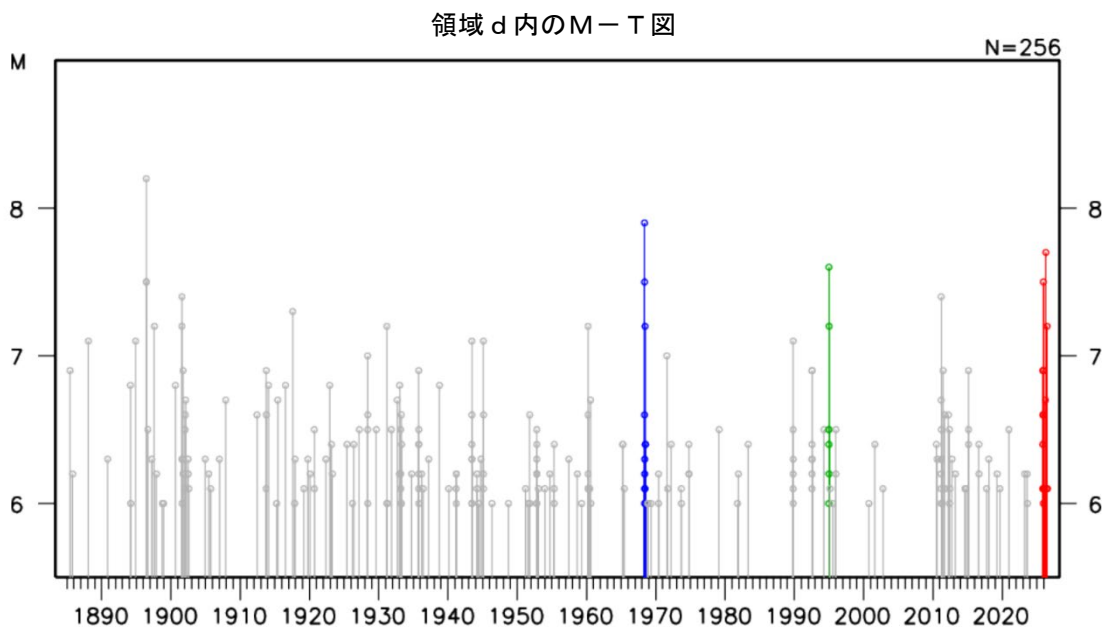


令和8年7月 地震・火山月報（防災編）

1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域d）は、M7を超える規模の大きな地震が度々発生するなど、地震活動が活発な領域である。1896年6月15日にはM8.2の地震（明治三陸地震）が発生し、死者21,959人などの甚大な被害となった（被害は「日本被害地震総覧」による）。



震源要素は、1885～1918年は茅野・宇津（2001）、宇津（1982、1985）による※¹。
被害は、「日本被害地震総覧」による。



※¹ 宇津徳治、日本付近のM6.0以上の地震及び被害地震の表：1885年～1980年、震研彙報、57、401-463、1982。
宇津徳治、日本付近のM6.0以上の地震及び被害地震の表：1885年～1980年（訂正と追加）、震研彙報、60、639-642、1985。
茅野一郎・宇津徳治、日本の主な地震の表、「地震の事典」第2版、朝倉書店、2001、657pp。